

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社大和ホーム工業)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用・教育・昇進・登用・福利厚生などのあらゆる雇用条件で差別のない体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			労働管理を充実させ、社員相互のコミュニケーションを作り努めハラスメントを禁止している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			目標値を決め残業時間短縮にとりくんでいる								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在外国人労働者は雇用していない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			現場及び移動においての安全を確保するため、安全連絡体制を構築し、安全衛生責任者交通安全責任者を定め、月1回の現場ハットロール、及び車両管理を行っている			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			定期健康診断をもとに、希望者に医師への相談を推奨している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			定年以降の再雇用を実施し、今後も適材適所の登用を推進する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			必要な資格所得に向け四角関係の費用の補助の実施、また、更新費用については全額会社負担、取得者への給与加算も行っている。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			現在パートタイム労働者はいないが入社の際かんけい法令にもとづいた対応を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康優良法人取得 年1回の健康診断の実地及び費用の補助、35歳以上の社員に対し5年毎の人間ドックの実施費用の補助。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業廃棄物の manifests の交付。事業系一般廃棄物分別などを適に行っている。											11.6	12		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			毎月の光熱費及び車両のガソリン代の管理を行い節電・節水等に努める、また近接現場への自転車移動も子になっている。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			社内の空調の設定を夏28度冬18度とし適切に管理している、またクールビズ、ウオームビズ昼休みの消灯も実施している							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			各有害有機物処理保管等の資格作業主任者を選任し適切に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			省エネルギー製品・省エネルギーシステムの設計提案を行っている、また低騒音、省燃費の機械等の導入に務めている。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			IT(クラウド)活用で社内の書類のペーパーレス化コピー用紙の再利用。											13		14.1				
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			夏の打ち水・植木等の散水、車の洗車等に井水を利用している						6.4 6.6											
18 環 境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			エコオフィス松本認定事業所の登録★★所得済み			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6						
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ									7.2						13					
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			社内備品のリサイクル製品・グリーン製品の活用。											12.2	13	14	15			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規約を整備し、社内の会議等指導している。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正行為に関与しないように社内で徹底周知している																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			私的財産を適切に管理し保護に努めている。							8.2 8.3	9									
25 公 正 な 事 業 慣 行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護法の基づき適切に管理している。																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		取り扱っていない。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	公表していないが今後検討する			3				8	9	10								17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービスの安全性 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			引き渡し物件の機器類の取り扱いについて説明及び説明書の作成、不具合等のアフターサービスの実施。			3.9									12.4					
30	品質保証 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			常にお客様の立場に立ち満足いただける製品提供のために施工計画・アフターサービスの実施。									9								
31	環境配慮 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ									6						12	13	14	15		
32	社会課題解決 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域への配慮 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			緊急修理のや硫黄、災害支援等の体制を整備している。				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献活動 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域の河川清掃(年1回)に協力、会社付近のごみ拾い(月1回)の実施				4							11			14	15		17
35	地域資源 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			地域で生産した物の購入など地産地商に努めている								8	9		11	12	13				
36	内部管理体制 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			年1回の総会、月1回の全体会議等で経営理念の確認、明文化、週1回の朝礼で社是の唱和を行っている。								8	9								17
37	法令遵守 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			会議等で法令順守の重要性を周知徹底している																16	
38	組織体制 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			強力な会社とともに連携し資源の再利用、廃棄物の削減に努めている。																16	
39	ステークホルダーとの対話 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			ステークホルダーとの対話大切に、自社のステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応するように努める。																16	17
40	リスクマネジメント ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			月1回の全体会議、年2かきの個人面談を行い体制の成果、問題点を評価、考察し改善点等を継続的に行っている。																16	
41	社会的責任 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			積極的に地域活動への参加、環境に優しい製品の提供、安全な労働環境のサービスに努める。																16	
42	事業継続 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			自身などの天災などが起こった場合にそなえ、自社の安否確認システムの利用及び重要書類を持ち出せるよう日頃からデータのバックアップを行っている。									9		11		13 13.1			16	
43	事業承継 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定